

1) 医師にかかる場合に必要な情報

◎主訴（症状）⇒何を診てほしいのか＝具体性が重要。いつからか、どのように変化しているか。

◎既往歴⇒これまで罹った疾患（例：●歳～糖尿病、●歳一〇〇の手術…）

内服薬⇒服用している薬

◎家族既往歴：家族の病気のこと（例：何の病気で何歳で亡くなったか）

◎生活歴⇒飲酒歴、喫煙歴、アレルギー

◎生活状況⇒住環境、家族形態

◎基礎疾患⇒知的障害についてどのような説明をされてきたか（例）てんかんに伴う知的障害、染色体異常に伴う知的障害

◎利き手

◎てんかんの有無。あるとしたらいつ頃からか。また発作の頻度。

◎注意事項⇒主観で伝えず客観的で具体的な情報で状況を伝える。例えば歩行に問題が出てきている時の表現として。良い例：歩行時に躓きやすい 悪い例：足が弱ってきている

◎持参物⇒お薬手帳、過去の健康診断データ